

**製品名: GRIN2A マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM81917**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	165.3kDa

**抗原情報**

遺伝子名	GRIN2A
別名	LKS; EPND; FESD; NR2A; GluN2A; NMDAR2A
遺伝子 ID	2903.0
SwissProt ID	Q12879
免疫原	大腸菌で発現したヒト GRIN2A (AA: 追加 23-165) の精製された組み換え断片。

**背景**

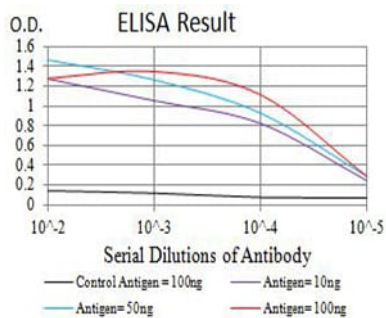
この遺伝子は、グルタミン酸依存性イオンチャンネルタンパク質ファミリーのメンバーをコードします。コードされるタンパク質は、N-メチル-D-アスパラギン酸 (NMDA) 受容体サブユニットです。NMDA 受容体はリガンド依存性かつ電圧依存性であり、長期

増強に関与しています。長期増強とは、活動依存的にシナプス伝達効率が上昇する現象で、特定の種類の記憶や学習の基盤となると考えられています。これらの受容体はカルシウムイオンを透過性に持ち、活性化されるとシナプス後細胞へのカルシウム流入が起こり、複数のシグナル伝達カスケードが活性化されます。この遺伝子の破壊は、局所性てんかんおよび言語障害（精神遅滞の有無を問わず）と関連しています。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じます。

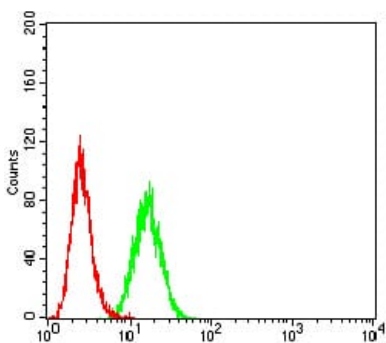
## 研究分野

-

## 画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



GRIN2A マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。